

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は2020年度新入生から適用されている新カリキュラムでの科目ですが、内容的には旧カリキュラムが適用される2021年度3年生以上の学生に対する講義科目「サービス経済論」と同じです。この講義は、今やあらゆる産業部門を通じて進行していると言われる「サービス化」とは何を意味するか、この問題を考えるために、広義の「サービス産業」を具体的に取り上げて、その歴史と現状を理解することを狙いとします。この授業は、経済学部のディプロマポリシーのうちDP1「1.日本と世界の経済、地域経済、企業経営及び観光に関わる基礎的理論・知識を修得」すること、および地域経済学科のディプロマポリシーのうち、特にDP1「経済学および隣接分野の基礎的理論を理解し、説明することができる」ための基礎に関わります。

2. 授業の到達目標

経済全体としてのサービスの意義は何か、広義の「サービス産業」が具体的にどのようなサービスから成り立つのか、それら様々なサービスが経済全体の発展にとって持つ意味、そして高度なサービスを生み出す源などに関する理論と現実を理解することがこの授業の到達目標です。

3. 成績評価の方法および基準

授業最終回に行なう試験に基づいて成績評価をします。また、広義の「サービス産業」に含まれる様々な産業、さらに各産業の代表的企業に関する基礎的な知識があるか否か等に関する質問を授業中に口頭で行なう予定です。これはいわゆる「反転授業」の意味を持ちます。さらに、授業内容の理解が確実になったか否かを確認するための簡単な小テストないし小レポートを随時課します。これらも最終的な成績評価に反映させる予定です。口頭での質問に対する学生からの解答や小テスト・小レポートについてはその都度、教員から正解や解答に至る考え方を解説するので、これが学生へのフィードバックとなります。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストを教科書とはしません。

参考文献

井原哲夫 『サービス・エコノミー』第2版 東洋経済新報社、1999年
佐和隆光(編) 『サービス化経済入門』 中央公論社(中公新書)、1990年
加藤幸治 『サービス経済化時代の地域構造』 日本経済評論社、2011年
J.ガーシュニイ & I.マイルズ 『現代のサービス経済』 ミネルヴァ書房、1987年
J.-C.ドゥロネ & J.ギヤドレ 『サービス経済学説史 300年にわたる論争』 桜井書店、2000年
P.F.ドラッカー 『ポスト資本主義社会—21世紀の組織と人間はどう変わるか—』 ダイヤモンド社、1993年

5. 準備学修の内容

この授業では特定のテキストを教科書として用いることはしません。しかし、授業中に随時、広義のサービス産業に関する文献や学術論文、インターネットでアクセスできる論文や各種資料などを紹介するので、これらを読むことが求められます。特に、日本政府・省庁が公開している各種の文書や統計を、インターネットを通じて入手して予習することや、学生自身がExcelを用いて分析することも必要となります。講義を受けたのちには、できるだけその日のうちに、講義中に取ったメモや参考文献、インターネットで取得できる情報などに基づいて、ノートを自分なりに整理することが求められます。これらの予習及び復習に、各1.5時間程度かかると思われます。

6. その他履修上の注意事項

授業中に教員が話したことを素早くメモに取る必要があります。
COVID-19の感染状況次第では、教室での対面授業ができなくなる可能性があります。その場合には、オンライン・オンデマンドでの授業形態を考えます。しかし、私のインターネット通信の技能や設備・ソフトウェアが整えば、同期双方向通信での授業展開もあり得ます。いずれにせよ、教室での対面授業ができない場合にはLMSでのレポート提出を毎回全員に求めざるを得なくなります。

7. 授業内容

- 【第1回】 この講義に関するシラバスの解説と受講上の注意、及びサービスの原義
- 【第2回】 サービス活動の特性に関する通説—サービスの輸送と在庫保管は不可能か?
- 【第3回】 サービス産業の隆盛は製造業の衰退をもたらすか?
- 【第4回】 広義の「サービス産業」の構成—日本標準産業分類の変遷—
- 【第5回】 成長しつつあるサービス業と衰退しつつあるサービス業
- 【第6回】 サービス活動に関する経済学説史
- 【第7回】 事業所サービスとその労働に関する特性
- 【第8回】 消費者サービスとその労働に関する特性
- 【第9回】 サービス産業の地理的分布
- 【第10回】 事業所サービス業の立地特性
- 【第11回】 地方都市における事業所サービス業の内実
- 【第12回】 地方中枢都市における事業所サービス業
- 【第13回】 巨大都市におけるサービス業
- 【第14回】 「サービス経済化」、情報化、知識創造
- 【第15回】 試験と総括ディスカッション